国土交通省
Ministry of Land,Infrastructure,Transport and Tourism

東北地方整備局新聞

第6号
2025年(令和7年)
11月13日

発行所　国土交通省東北地方整備局　〒980-8602　宮城県仙台市青葉区本町3-3-1　仙台合同庁舎B棟　電話022-225-2171(代表)　https://www.thr.mlit.go.jp/

11月18日 高卒者試験合格発表
～採用面接の受付を開始します～

「国家公務員採用一般職試験(高卒者試験)」は11月18日（火）に合格発表となる。東北地方整備局では合格発表日の翌日から合格者を対象に採用面接を実施する。

採用面接に先立ち、面接希望日時の事前申込みが必要となる。

◇◆採用面接概要

◇面接期間
11月19日(水)から実施
(土日祝を除く)

◇実施場所
国土交通省東北地方整備局（仙台市）

◇申込方法
次のQRコードから申込みフォームに必要事項を入力の上、申込み。

※詳細はHPから
『令和7年度 採用面接(高卒者・技術系)のご案内』

「総合防災訓練」を実施
～災害対応や関係機関との連携強化～

東北地方整備局では、10月3日（金）に災害発生時における広域的な災害対応能力の向上を目的とした「総合防災訓練」を実施した。

本訓練では、被災情報の迅速な収集・伝達及び情報共有に加え、災害時に応援をいただく各団体との連携確認などを行った。

参加者は、本局と事務所職員の外、陸上自衛隊、海上保安本部、管区警察局、管区気象台などの関係機関、また、民間の建設業団体と合わせ、約三千三百人となった。

◆より実践的な訓練
～伝えること～

今年度は、秋田県沖に地震が起き津波が発生したことを想定したシナリオで、オペレーション確認を行った。

また、自治体へ派遣した職員からの情報を基に、孤立集落への対応訓練なども行われた。

災害時には得られた情報を必要な場所へ伝えることも重要だ。今年度は報道機関も参加し、記者会見を行うなど、新たな訓練要素を取り入れ、より実践的な訓練も行った。



訓練の様子
（本局 災害対策室）


被災状況確認訓練のため、防災ヘリに搭乗する職員

みなとの工事を見学をしよう
～工事動画紹介サイト開設～

「みなとの社会科見学」で工事動画配信中！

皆さんは、巨大な船が停泊するみなとがどのように作られているのかを知っているだろうか。

東北地方整備局（港湾空港部）では、普段、目にすることが少ないみなとの工事について、工事動画を作成し、HP上で情報発信を開始。土木技術者を目指している人や、公共インフラの整備に興味がある人、または、みなとの景観が好きな人などに、是非ご覧いただきたい。



工事動画紹介サイト
「みなとの社会科見学」

▼▲「ポート・オブ・ザ・イヤー2025」へ投票を

その年のみなとに関する話題づくりで、最も優れたみなとを『ポート・オブ・ザ・イヤー』として表彰する取り組みがあることを知っているだろうか。

選定対象は、重要港湾・地方港湾を問わず、全国の全ての港湾が対象となる。選定方法は、みなさんの投票数で決定される。

今年、私たち東北地方整備局の管轄エリアでは、開港から四百年目を迎えたことを記念し、大型帆船「日本丸」寄港による記念式典や、グルメイベントなどが開催された「青森港」がエントリーしている。

日本港湾協会のHPから投票ができるので、投票してみませんか。

みなとの工事動画
視聴はこちらから。

『ポート・オブ・ザ・イヤー2025』の
投票はこちらから。

コラム 徹頭徹尾

◇◆大切な相棒

国交省の各地方整備局・北海道開発局では、災害時の情報収集を目的として災害対策用ヘリコプターを計9機保有している。

東北地方整備局においては最新鋭の中型ヘリコプター、愛称「みちのく号」を保有し、災害発生時は他の整備局と協力・連携しながら迅速な被害状況調査を行っている。




左上/関東地方整備局　愛称「あおぞら号」
右上/北陸地方整備局　愛称「ほくりく号」
右下/東北地方整備局　愛称「みちのく号」